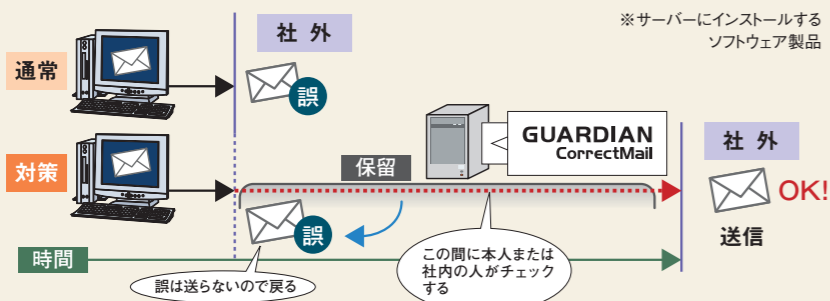


図2 「GUARDIAN CorrectMail」でメールの誤送信対策を!



●誤送信チェックの方法

1 本人の確認

送信したメールを一定時間保留可能。保留されているメールを専用画面からチェックし、問題があれば送信を中止することができる(メールソフトの「送信トレイ」に残っていても、送信を中止すれば相手には送られない)。



2 グループメンバーの確認

宛て先となる人への送信は15分後、CCに入れた社内メンバーには5分後というように保留時間の時差をつけられる。この間に社内メンバーのチェックを経てミスを発見してもらうことが可能

3 上司の査閲

上長にメールの内容を見てもらい、OKとなった場合のみ送信する。不可の場合、削除作業も行える

- グループ単位での設定や各種ルール設定も!
 - 価格 50ユーザー版 18万3,750円(税込)(年間保守料金2万7,562.5円(税込)) ※ASP対応も予定
- キヤノンITソリューションズでは、企業ニーズ、ネットワーク形態、規模に応じたセキュリティ対策製品・サービスをラインナップ!

「いつものキヤノン」にご相談を!



メールの送信ルールを決め運用を定着させる

これらは、メールの重要度や社内業務フローに応じ選択する

三つめは「上長による査閲」。保留したメールを上長が確認し、許可か削除のいずれかを指定できる。

お問い合わせ先
 キヤノンITソリューションズ株式会社
 東京都港区三田3-11-28
 セキュリティソリューション事業部
 URL: http://canon-its.jp/
 電話: 03-5730-7123

情報セキュリティ
メール誤送信対策システム

保留されたメールを確認する

保留されたメールの確認方式は大きく三つある。

第一は「自己チェック」。「GUARDIAN CorrectMail」には従業員ごとに専用画面が設けられ、「送信したが、ま

だ社外に出していないメール」を一覧できる。メールを書いた時とは違う視点で内容をチェックすれば、誤りを発見しやすい。誤送信防止の基本フローといえるだろう。

二つめは「社内の同僚者による発見」。顧客にメールを送信する際「CC」欄に社内メンバーを指

定することがあるだろう。この際に、顧客宛てと社内宛てでメールの保留時間に差をつけ、社内に先に届くようにする。「時差」の間に、メール内容をチェックしてもらい、問題があれば送信を中止するというものだ。見積書の送付、顧客へのサポート対応などの際には特に有効だろう。

キヤノンITソリューションズでは、メール誤送信対策システムはもとより、ウイルス対策、迷惑メール対策など、会社に欠かせないセキュリティ対策を各種取り揃えている。コピーや複合機などで顔見知りの「いつものキヤノンの人」に一声掛けられ、ワンストップで情報セキュリティ対策ツールを導入できる。相談相手は、実は身近なところにいるのである。

保留されたメールを確認する

保留されたメールの確認方式は大きく三つある。

第一は「自己チェック」。「GUARDIAN CorrectMail」には従業員ごとに専用画面が設けられ、「送信したが、ま

だ社外に出していないメール」を一覧できる。メールを書いた時とは違う視点で内容をチェックすれば、誤りを発見しやすい。誤送信防止の基本フローといえるだろう。

二つめは「社内の同僚者による発見」。顧客にメールを送信する際「CC」欄に社内メンバーを指

定することがあるだろう。この際に、顧客宛てと社内宛てでメールの保留時間に差をつけ、社内に先に届くようにする。「時差」の間に、メール内容をチェックしてもらい、問題があれば送信を中止するというものだ。見積書の送付、顧客へのサポート対応などの際には特に有効だろう。

キヤノンITソリューションズでは、メール誤送信対策システムはもとより、ウイルス対策、迷惑メール対策など、会社に欠かせないセキュリティ対策を各種取り揃えている。コピーや複合機などで顔見知りの「いつものキヤノンの人」に一声掛けられ、ワンストップで情報セキュリティ対策ツールを導入できる。相談相手は、実は身近なところにいるのである。

送信と到着の間にチェックできれば...

ヒューマンエラーはゼロにすることは不可能。従業員を大切にす

る会社なら、万が一のミスが起きてもカバーする策を用意していき、従業員を厳しい立場に追い込まないようにしたいものだ。

こうした企業の要望に応じて開発されたのが、キヤノンITソリューションズなら、万が一のミスが起きてもカバーする策を用意していき、従業員を厳しい立場に追い込まないようにしたいものだ。

策システム「GUARDIAN CorrectMail」(ガーディアンコレクトメール)である。アンコレクトメール)である。ではどんな仕組みで誤送信を防ぐとしているのだろうか。

誤送信の多くはメールの送信ボ

と良い。このほか、「添付ファイルのあるメールは重要度高」「条件に当てはまるアドレスを含むメールは保留する」など誤送信防止につながる判定ルールを設定したり、グループやユーザー単位でルールを定めることが可能だ。

「ああっ、しまった。すみません...」青ざめた顔で従業員がやってきた。見積書をメールに添付して送信する際、誤って別の会社に送ってしまったという。必ずチェックするように指導しているが、忙しく、「ついうっかり」となったのだろう。

他にも、「転送」するつもりが「返信」してしまったとか、大勢の人に「BCC」送信すべきものを「To」に入れてアドレスを公開してしまったなど、メールの「しまった」は他人事ではない。

「ああっ、しまった。すみません...」青ざめた顔で従業員がやってきた。見積書をメールに添付して送信する際、誤って別の会社に送ってしまったという。必ずチェックするように指導しているが、忙しく、「ついうっかり」となったのだろう。

他にも、「転送」するつもりが「返信」してしまったとか、大勢の人に「BCC」送信すべきものを「To」に入れてアドレスを公開してしまったなど、メールの「しまった」は他人事ではない。

リユーシヨ
 ンスのメー
 ル誤送信対
 策システム「GUARDIAN CorrectMail」(ガーディアンコレクトメール)である。アンコレクトメール)である。ではどんな仕組みで誤送信を防ぐとしているのだろうか。

一度別の観点でチェックできれば、ミスの発見確率は高くなる。そこで、本製品では送信したメールを5分、10分など指定した時間だけサーバーに保留し、チェックタイムを設けられるようにした。

「ああっ、しまった。すみません...」青ざめた顔で従業員がやってきた。見積書をメールに添付して送信する際、誤って別の会社に送ってしまったという。必ずチェックするように指導しているが、忙しく、「ついうっかり」となったのだろう。

他にも、「転送」するつもりが「返信」してしまったとか、大勢の人に「BCC」送信すべきものを「To」に入れてアドレスを公開してしまったなど、メールの「しまった」は他人事ではない。

「ああっ、しまった。すみません...」青ざめた顔で従業員がやってきた。見積書をメールに添付して送信する際、誤って別の会社に送ってしまったという。必ずチェックするように指導しているが、忙しく、「ついうっかり」となったのだろう。

他にも、「転送」するつもりが「返信」してしまったとか、大勢の人に「BCC」送信すべきものを「To」に入れてアドレスを公開してしまったなど、メールの「しまった」は他人事ではない。

一度別の観点でチェックできれば、ミスの発見確率は高くなる。そこで、本製品では送信したメールを5分、10分など指定した時間だけサーバーに保留し、チェックタイムを設けられるようにした。

一度別の観点でチェックできれば、ミスの発見確率は高くなる。そこで、本製品では送信したメールを5分、10分など指定した時間だけサーバーに保留し、チェックタイムを設けられるようにした。

インターネットのセキュリティ①

「しまった! メール送信先を間違えた...」
 人的ミスを減らす仕組みで従業員を守る!



図1 どの会社にもあるメール誤送信例

- 添付ファイルの問題**
 - ・社外秘ファイルを送信してしまった
 - ・添付ファイルを間違えた
 - ・大きいサイズのファイルを添付してしまった
 - 送信先の問題**
 - ・転送のはずが返信してしまい、社内向けのメールを顧客へ送信
 - ・BCCのはずがCC、Toにしてしまいメールアドレスが流出
 - ・顧客の名前を間違えた
 - 内容の問題**
 - ・敬称を付け忘れた
 - ・件名と本文の内容が違った
- 顧客に届くまでにチェックする時間を取れると良い